



2026年6月29日

各 位

上場会社名 株式会社ジェリービーンズグループ
(東証グロース・コード3070)
本社所在地 東京都中央区勝どき三丁目13番1号
代 表 者 代表取締役社長 宮崎 明
問 合 せ 先 取締役 IR広報室長 林 光
電 話 番 号 (03) 4570-6139
(URL <https://www.jelly-beans-group.co.jp/>)

(開示事項の経過) 株式会社NTTsportict との業務提携に関するお知らせ

株式会社ジェリービーンズグループ(東京都中央区、代表取締役社長:宮崎 明、以下「当社グループ」)は、2026年1月23日に公表の「株式会社NTTsportict との業務提携に関するお知らせ」(以下、「本提携」)に基づき、AI カメラを活用したスポーツ映像配信・スポーツDXソリューション「STADIUM AI (JELLY BEANS AI SOLUTION)」のサービスを開始し、本事業を本格展開することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、本サービスの運営主体は、当社の連結子会社である株式会社ジェリービーンズマーケティングラボが担い、株式会社NTTsportict(本社:大阪府大阪市、代表取締役:中村 正敏、以下「NTTsportict」)との業務提携のもとで提供してまいります。

記

1. 本提携の経過

近年、スポーツ分野においては、デジタル技術の進展を背景に、映像配信、データ活用、ファンエンゲージメントの高度化を目的としたスポーツDXの重要性が高まっております。地域スポーツやアマチュアスポーツの領域では、これまで映像化のハードルが高かった試合・大会を低コストで撮影・配信し、競技者・観戦者・地域・スポンサーをつなぐニーズが急速に拡大しております。

当社グループは、本提携に基づき、AI カメラを活用したスポーツ映像配信事業の実証・準備を進めてまいりました。このたび、サービスブランド「STADIUM AI」として提供体制・収益モデル・運用ノウハウを整備し、本格展開(サービス開始)の段階に至りました。

2. 「STADIUM AI」のサービス概要

「STADIUM AI」は、NTTsportict が提供するスポーツ映像プラットフォームを基盤に、AI カメラを活用して、無人・低コストでの本格的なスポーツ映像の撮影・配信・分析を実現するサービスであり、主な特長は以下のとおりです。

・無人で本格映像

AI が自動でカメラワーク・編集を行い、カメラマン不要で本格的な試合映像を撮影します。

・自動で配信

アーカイブ配信に加え、機種に応じてライブ配信にも対応します。

・パノラマ記録

逆サイドの動きも同時に記録し、視点移動・ズームで分析にも活用できます。

・遠隔で操作

スマートフォン/PCから遠隔で撮影を開始でき、常設運用でも負担を最小化します。

- ・映像を分析

自動タグ付け・ハイライト生成により、チーム強化・スカウティングに直結します。

サッカー・バスケットボール・野球・バレーボールをはじめとする 16 競技に対応し、用途に応じた機種ラインナップ（常設用・可搬用等）を取り揃えております。主な対象は、スポーツチーム、大会・競技団体、スポーツ施設・スクール、行政・自治体です。

3. 「JELLY BEANS AI SOLUTION」の位置づけ

「STADIUM AI」は、当社グループが展開する一連の AI 関連サービス群「JELLY BEANS AI SOLUTION」の一つとして提供するものです。当社グループは、エッジ AI および生成 AI を軸に、スポーツ・エンターテインメント・地域 DX の各領域で新たな価値を創出することを目指しており、本サービスはその中核を担うものです。

当社グループが推進する主な AI 関連サービスは以下のとおりです。

- ・STADIUM AI

AI カメラ（エッジ AI 解析）を活用したスポーツ映像配信・スポーツ DX ソリューション（本サービス）。

- ・Photoroid Music

AI を活用した音楽生成サービス。

- ・画像認識プラットフォーム

株式会社 Intelligence Design 等とともに推進する、エッジ AI 解析技術を用いた画像認識ソリューション。

これらを「JELLY BEANS AI SOLUTION」として体系的に位置づけることで、当社グループの AI 事業戦略を明確化し、サービス間のシナジーと事業ポートフォリオの拡充を図ってまいります。

4. 運営体制・収益モデル

本サービスは、当社の連結子会社である株式会社ジェリービーンズマーケティングラボが運営主体となります。NTT Sportict が映像撮影・配信の技術基盤を担い、当社グループが営業・ブランディング・広告マッチング・メディアネットワークを担う体制（OEM 展開）で提供してまいります。収益モデルは、以下の 4 つの柱で構成いたします。

- ・機材導入・運用収益

撮影・配信・視聴課金・写真販売等による直接収益。

- ・広告・スポンサーマッチング収益

配信映像の広告媒体化、地域・ナショナルスポンサー連携によるストック型収益。

- ・ソリューション横展開収益

機材導入支援・運用代行・映像分析支援等による LTV の最大化。

- ・施設常設モデル収益

施設・スクールへの常設導入による継続的な収益。

5. 今後の見通し

本事業による当社の 2027 年 1 月期の業績に与える影響は精査中ですが、今後、適時開示の必要が生じた場合には、速やかに公表いたします。

以上